

公益財団法人仁科記念財団  
第40回理事会議事録

1. 日時 令和4年10月27日（木曜日） 17時30分～18時00分
2. 形式 WEB会議（Zoomによる）
3. 出席

出席理事：総数 11名（理事現在数 11名）：

安藤恒也 家 泰弘 伊藤公孝 上叢義朋 梶田隆章 小林 誠 佐々木 節  
十倉好紀 永宮正治 藤川和男 矢野安重

出席監事：

荒船次郎

4. 議事の経過と結果

第40回理事会をWEB会議として開始するにあつて、出席（参加）理事、監事、全員の音声および映像が共有されていることを確認した。

定刻、小林誠理事長が議長となり、出席理事数が定款第37条3項に定める定足数6名に達していることを確認の上、理事会開会を宣言した。

(1) 業務執行状況報告

議案審議に先立って、定款第28条第4項に則り、小林誠理事長、家泰弘常務理事、藤川和男常務理事、矢野安重常務理事より、令和4年度上半期に行った、それぞれ、財団運営の総理、仁科記念講演会の開催、仁科記念賞および仁科アジア賞の運営、財団運営の総務についての業務執行状況が個別に報告された。

(2) 議案審議

第1号議案：令和4年度（第68回）仁科記念賞決定の件

安藤恒也仁科記念賞選考委員長より「令和4年度は25件の推薦があり、慎重に審議した結果、①齊藤英治 東京大学大学院工学研究科 教授 『スピン流物理学の開拓』②小松英一郎 Max Plank Institute for Astrophysics Director 『宇宙背景放射を用いた標準宇宙論への貢献』の2件を受賞者としてほしい旨提案があり、審議の結果、全出席理事異議なく、本財団仁科記念賞規程第6条第2項に従い、選考委員会提案通り令和4年度仁科記念賞受賞者を決定した。

第2号議案：Nishina Asia Award を廃止する件

小林誠理事長より、昨今のアジア諸国における基礎物理学振興の高まりに鑑み、Nishina Asia Award の本来の使命は全うされたと判断されるので、第11回以降のNishina Asia Award は廃止したい旨提案があり、審議の結果、全出席理事異議なく、本提案は承認された。なお、将来、本Award に代わる新たな国際協力事業を立案することが望まれるという意見が多数あったことを付記する。

以上で議事を終了し、本理事会の議事録署名人は定款第 40 条に則り小林誠理事長のほか荒船次郎監事とすることとした後、議長は本理事会の終了を宣し閉会した。

以上の議事録が正確なものであることを証するため、議事録署名人、下記に署名捺印する。

令和 4 年 10 月 27 日

公益財団法人仁科記念財団 第 40 回 理事会

理 事 長

小林 誠



小 林 誠

署 名 人

荒船次郎

荒 船 次 郎



本議事録の作成にかかわる職務を行ったものの氏名

公益財団法人仁科記念財団 常務理事 矢野安重